

【総領事館からのお知らせ:爆弾テロ計画の容疑者20名を逮捕】

平成23年4月27日(総11第15号)
在デンパサール日本国総領事館

1. 3月のジャカルタにおける書籍爆弾事件、そして4月21日、ジャカルタ郊外のバンテン州スルボンにあるキリスト大聖堂教会から重さ約80キロを含む爆弾が発見され、不発処理された事件に関して、インドネシア国家警察はこれまでに容疑者20名を逮捕しています。

2. このような事件の発生により、ユドヨノ大統領は21日、緊急閣議を開き、最高度の警戒態勢「シアガ1」を発令し、国軍や警察等の治安機関に対して警備強化を命じています。バリ州においても、検問が強化されるなど国軍や警察等の治安機関が警備体勢を強化しています。

3. 在留邦人の皆様におかれましては、テロ等の不測の事態に巻き込まれないよう、最新の治安情報の入手に努めて下さい。特に、多くの人が集まる場所には十分注意して下さい。また、テロ事件が発生した場合の対応策を再点検し、状況に応じて適切な安全対策を講じられるよう心掛けて下さい。

以上